

平成29年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 其他一般 マスタープラン： 3つの挑戦
 施策番号 1-1 ・ 1-2 ・ 1-3 ・

局・課名： 健康福祉局・
 こころの健康センター

事業名	こころの健康センター地域支援事業費		事業費(千円)	平成27年度決算額 23,901	平成28年度予算額 26,886	平成29年度要求額 29,264	
	【目的】	精神保健及び精神障害者の福祉に関する知識の普及啓発により、市民のメンタルヘルスの増進をめざす。精神保健及び精神障害者の福祉に関する相談・指導について複雑又は困難なものを行ない、精神保健福祉に関わる業務を行う関係機関に対する技術的事項についての協力その他必要な援助を行うことにより、精神的健康に不安のある市民及び精神障害者の福祉の向上を図る。		債務負担行為		期間 H ~ H	
事業概要	【内容】	精神保健福祉センター(こころの健康センター)として、以下の事業を実施する。 ①複雑困難事例への専門相談(ひきこもり、薬物依存、自死遺族等) ②こころの電話相談 ③ひきこもり地域支援センター(成人期) ④地域関係機関への技術支援 ⑤教育研修 ⑥普及啓発 ⑦企画立案 ⑧調査研究 ⑨組織育成		主な要求内容 (単位:千円)			
		項目	28年度予算	29年度要求額	内容・積算等		
		専門職(非常勤)の給与	14,368	14,888	精神保健福祉士、臨床心理士 各2名		
		専門相談等医師報酬	2,100	2,100	ひきこもり、薬物依存等相談業務		
		研修講師謝礼金	5,616	6,523	ひきこもり、薬物依存、性暴力被害、自死遺族研修		
		研修旅費、専門職(非常勤)の通勤費	2,092	2,877	薬物依存研修(東京) 他		
		専門グループワーク活動用品等	462	462	事務用品、研修講師湯茶		
		印刷製本費	760	690	薬物・アルコール依存症冊子 他		
		通信運搬費、行事保険料	396	347	専用電話、郵送費等		
		啓発イベント会場設営委託	150	150	依存症回復プログラム啓発イベント等		
		専門グループワーク会場等使用料	102	102	啓発イベント施設借上等		
	研修会、その他参加負担金	840	1,125	ひきこもり、薬物依存、性暴力被害、アルコール研修			
	合計	26,886	29,264				
	【今年度要求のポイント】	刑法改正(一部執行猶予制度の施行)等に伴い、依存症に関する地域支援体制の充実が求められている。当センターにおいても、平成28年度からそのための各種事業(支援プログラムや研修等)を開始したが、平成29年度から制度施行の本格的な影響が生じることとなる。 以上を含め、様々な社会情勢の変化に伴う精神保健福祉に関するニーズの高まりに対応し、専門相談等の充実を図るため、その必要経費を予算要求した。		スケジュール(経過及び今後展開)			
		【経過(～28度)】 ・各種専門相談の実施等 ・刑法改正等に伴う専門相談の充実等	【29年度】 ・薬物依存、ひきこもり支援(サポーター養成派遣)の充実 ・その他専門相談等の強化	【今後予定(30年度～)】 ・相談利用状況等に応じて事業規模を調整			
		その他 特記事項 みんなの審査会対象外 関連事業:					